

就学支援推進校に係る授業料支援実施状況及び  
授業料支援補助金前倒し概算交付希望調査

学校番号（新番号）

---

学校名

---

担当者名

---

連絡先

---

1. 所得が低いことを理由として入学者選抜が不利になることがないよう配慮していますか。

- はい  
 いいえ

2. 授業料改定について

(1) 平成28年度に授業料改定を行う予定がありますか。

(いいえの場合、(2)への回答は不要です。)

- はい  
 いいえ

(2) いつ頃、大阪府に相談を行う予定ですか。

(既に相談を始めている場合は、初日の日付を記入してください。)

平成 年 月頃

3. 新入生の授業料の納付の時期、方法等について、分納、後納を認めるなど、適切に配慮することになって  
いますが、どのような配慮を行うこととしていますか。

【例】保護者からの相談を受け、授業料支援補助金交付日まで納付を猶予することなどにより、対応する。

(自由記載)

**以下の設問は、全日制高校、高等専修学校のみ回答してください。(通信制高校は回答不要です。)**

4. 平成26年度の授業料支援について

(1) 平成26年4月に、授業料支援補助金の前倒し概算交付を受けましたか。

- 受けた  
 受けていない

(2) 2・3年生への授業料支援の実施方法を教えてください。

- 無償化となる生徒全員に対し、授業料の引き落としを行わなかった（相殺した）。
- 授業料は一旦納付させるが、補助金交付を受けて、速やかに還付した。  
⇒ 還付時期 平成 年 月 日  
平成 年 月 日
- その他 ( )

(3) 1年生への授業料支援の実施方法を教えてください。

- 授業料を一旦納付させ、補助金交付を受けて、速やかに還付した。  
⇒ 還付時期 平成 年 月 日  
平成 年 月 日
- その他 ( )

5. 平成27年度の授業料支援補助金の前倒し概算交付について

(1) 平成27年度に、授業料支援補助金の前倒し概算交付（4月末日を予定）を希望しますか。

- 希望する
- 希望しない（理由： )

**※授業料支援補助金の前倒し概算交付は、就学支援推進校のうち、平成27年9月末までに授業料支援（相殺・還付等）を実施する学校を対象とします。**

(2) 2・3年生への授業料支援の実施方法を教えてください。

- 無償化となる生徒全員に対し、授業料の引き落としを行わない（相殺する）。  
⇒ 相殺する授業料【例：Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期】  
( )
- 授業料は一旦納付させるが、補助金交付を受けて、速やかに還付する。  
⇒ 還付予定時期 平成 年 月 日（○期分）  
平成 年 月 日（○期分）
- 相殺と還付を併用する。  
⇒ 相殺する授業料【例：Ⅰ期のみ】  
( )  
⇒ 還付する授業料【例：Ⅱ期とⅢ期】  
( )  
⇒ 還付予定時期 平成 年 月 日（○期分）  
平成 年 月 日（○期分）
- その他 ( )

〔留意点〕

- 全生徒の授業料納付期日が10月以降の場合は、「その他」を選択し、納付期日を記載してください。
- 授業料の納付時期等は、学校の呼称にあわせてください。
- 依頼文にも記載していますが、推進校指定後の状況を確認するため、平成27年度生徒募集要領を併せて提出してください。
- 平成27年度の就学支援推進校の指定について、内容の変更等がある場合は、3月5日（木）までに、大阪府私立高校生等就学支援推進校指定申出書もしくは指定辞退申出書を提出してください。なお、提出にあたっては、事前に私学・大学課までご連絡ください。
- **授業料支援補助金の前倒し交付を受け、授業料支援事業を早期に実施する学校については、広く周知を図るため、本調査結果を基に、ご協力いただける学校名を大阪府ホームページで公表しています。**